

プロフィール

1968(昭和43)年3月29日
広島県呉市阿賀北生まれ
原小学校卒業(呉少年合唱団)
東畑中学校卒業
呉三津田高校卒業(37回生)
早稲田大学社会学部卒業

トランス・コスモス(株)
DDIポケット(株)
衆議院議員 寺田稔秘書
衆議院議員 尾身朝子秘書

伯父/尾身幸次 元財務大臣
従姉/尾身朝子 衆議院議員
祖父/柳三 大呉市民史著者
呉日報社主
父/融(あきら) 故池田行彦先生
秘書

ホームページ <http://hironakarejiro.net/>

若さでチャレンジそして世代交代!

みなさまへのおやくそく

1 復興 災害に強いまちづくり

2 福祉 高齢者にやさしい
まちづくり

3 教育 子どもたちが健やかに
成長する環境づくり

4 産業 中小企業活性化、
女性と若者の創業支援、
観光による産業活性化

5 交通 道路・鉄道網の
整備振興

6 公共 施設整備と活用策の実行

7 財政 行政コスト低減と
サービスの向上



ひろなか
れいじ
朗

ワンさんの「市民派」宣言

1. 「政治家」より「市民」が主役です
2. 「うそ」「かくしごと」より「開かれた政治」です
3. 「政・財・官癒着」より「清潔な政治」です
4. 「格差」「貧困」より「いきいき共生」です
5. 「東京一極集中」より「地方創生」です
6. 「市民派」です「草の根」です

ワンさん6つの目標

1. 核も戦争もない平和なみどりの地球
2. 豪雨災害からの復旧復興、生活再建
3. 呉線沿線・島しょ部の活性化、若者定住
4. 消費税10%反対、年金者のくらし擁護
5. 「教育第一」子育て支援、虐待ゼロ
6. 障がい者(児)支援、高齢福祉介護充実

いぬどうが働きます!

県政報告くれ

第646号(地域政策特集)
2019.3.29
発行人 いぬどう英徳 ☎(0823)72-9065

- とびしま海道～大三島まで3架橋延長、172km安芸灘一周!
- 呉線沿線・島しょ部活性化、観光、農漁業再生、若者定住!
- 子育て支援、福祉介護、障がい者支援、防災など!
- 被爆県「ヒロシマ」の県議、核兵器廃絶、反戦平和の先頭に!
- 幹線道路やJR呉線、土砂撤去など2か月前倒しで復旧!
- 豪雨災害本格復興はこれから!
- みんなで交通事故、虐待、いじめ、不登校ゼロの地域づくりを!

いぬどうはハッキリものを言う「県議会の野武士」を貫きます!

「議会報告」市議・県議通算646号(約496万部)発行! 早朝お届け
朝1日10km、年間300日3,000km、年間15万軒が目標! 生活環境など地域課題調査に!



いぬどう英徳
革新無所属

誠実の人・行動の人・信念の人!

めざします

- 災害から命を守る対策の強化。ハード・ソフト両面の一体的取り組みの推進。
- 自主防災組織への支援、防災リーダーの育成強化、高齢者など災害弱者対策の推進。
- 健康長寿社会に向けた、健康増進・予防医療の推進。
- 企業誘致や若者と地元企業のマッチングを促進し、新たな雇用を創出。
- 児童生徒の学力向上と個性を伸ばす教育、生涯学習の充実。

プロフィール

- ◎昭和30年、府中市上下町生まれ。県立三次工業高校卒。64歳。
- ◎昭和48年、新日本造機(株)入社。タービン製造技術指導員として海外8カ国を巡り、発展途上国の技術支援を行うなど、17年間勤務。
- ◎平成3年、呉市議選に初当選し、市議6期。呉市議会副議長を歴任。
- ◎平成27年、広島県議会議員選挙 当選(現1期) 広島県議会生活福祉保健委員会 副委員長を歴任。



公明党

したにし
下西
ゆきお

福田やすたか プロフィール

昭和47年9月11日(46歳)
崇徳高校・広島大学経済学部 卒業
高校卒業後、東京に上京し、飲食業界で働く。麻布台のリストランでは、フランス料理のシェフを務める。その後、IT関連企業の東京支社長になるが、2009年に倒産。大学受験を決意する。
2015年の広島県議会議員一般選挙で呉市選挙区から立候補するも敗れる。その後、株式会社オリエンタルコンサルタンツで働き広島県内の都市政策・交通・観光・防災・設計・点検・災害復旧支援などを行う。退職し、再挑戦!

私の想い...

この町で生まれ、この町で育ち、この町で生計を立てる。3世代で暮らせるまちづくり。世代間での子育てや介護を通じた共助の命の尊さなど、学校で学べないものが、育まれる3世代で暮らせるまちづくりを実現したく立候補いたしました。そのためには、男女・若年者・高齢者・障害者など様々な方々が働ける場の確保が必須です。では、なぜ呉市からなのか?それは、地方の生き残りには、「ものづくり」です。呉市には、農業や工業など充実しており、ポテンシャルは非常に高いです。今、呉は転換期を迎えています。戦後、旧軍資産を上手く活かし、復興を成し遂げた呉ならばできます。広島県を引っ張っていきけるのは、呉です。広島県民が一丸となって進めば、私が目指すまちづくりが実現できると確信しています。私のこれまでの経験や知識を活かして、再び広島県を輝かせたい。

- 1 道路・橋・トンネル・水道・砂防などの維持管理費を抑えていきます。
↓民間活力や新たな仕組みや制度を活用します。どうやって抑えるの?
- 2 公共交通網の整備により生産活動が盛んに行える環境を作ります。クレアラインと安芸灘大橋の引き直しを行い、住民や観光客の利便性を図ります。呉線の複線化(快速・準快速・各停列車により自動車依存を軽減)
- 3 小児科と産科の充実を図ることにより安心して子供を産み育てる環境を進めます。医療機関の小児科と産科の充実を図り、いのちを守る医療のまちを進めます。
- 4 親と子供が遊べる・楽しめる場所を増やします。
- 5 犬・猫殺処分0に向けて環境を改善します。ファッションやおもちゃではない。

身近な県政を。
— あきらめない! 2度目の挑戦! —

税金は、道路・橋・トンネル・水道といったインフラの維持管理費と社会保障費に使われています。限られた財源で双方とも満足のいくものにしていくためには、保身ではなく、新たな取り組みが必要です。ものづくり=生産能力に必要なものは生産資産です。(生産資産とは、生産するために必要な固定資産=インフラ整備)建設コンサルタントで培ってきたノウハウを活かし、『自由な経済活動』や『新たな価値の創造』へ挑戦していきます。



46歳・無所属
福田やすたか

広島県議会議員一般選挙
呉市選挙区

選挙公報

平成31年4月7日執行
広島県選挙管理委員会

若さと情熱で県政に新風を!

プロフィール

昭和46年 呉市川尻町生まれ
祖父は坪川蔵之助(元川尻町長)
父は坪川禮巳(元県議会議員、
学校法人 清水ヶ丘学園理事長)

平成元年 広島県立広高等学校卒業(40期生)
平成5年 明治大学理工学部工業化学科卒業
平成5年 ライオン株式会社 研究開発本部入社
平成9年 株式会社 坪川毛筆刷毛製作所入社
平成21年 呉広域商工会青年部長
平成25年 呉法人会青年部会長

現在
公益財団法人呉法人会 理事
呉商税会 豊田支部長
呉広域商工会 監事
川尻毛筆事業協同組合 理事長
くれ創生塾 会長
地方創生セミナー 副委員長

呉線沿線・島しょ部を元気に!

- ①災害に強い街に
- ②インフラの整備・強化
- ③産業基盤強化
- ④観光事業の強化
- ⑤子育て支援の強化

平成30年7月の西日本豪雨災害におきまして、お亡くなりになられた皆様、ご家族の皆様には哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。近年、地方の人口減少が続く一方で、自分らしい働き方、暮らし方を求めて地方へ移住する若者が増えています。若者や子育て世代が集う街、安心して暮らせる街を目指し、地域の方々のつながりを生かした魅力ある街「R」を発信していきたいと思っております。呉は山、川、海に囲まれ、恵まれた地域で、これらの資源を有効に活用すれば、未来に希望もてる強靱な街づくりが可能であると考えます。あらためて今の「R」に即した活気ある強い街「R」に向け、微力ではありますが若い力で県政にチャレンジすることを決意いたしました。一緒に「R」を盛り上げていきましょう。皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

強い呉をつくる!

坪川ひたつ

自由民主党公認 48歳



道をつなぎ 地域を活かす

プロフィール

昭和36年/修道中学校卒業
昭和39年/山陽高等学校卒業
昭和43年/日本大学経済学部卒業
(株)石川島播磨重工業入社
昭和48年/芸州海運(株)入社
昭和62年~/広島県議会議員(現在8期目)
現在/広島県都市計画審議会委員
広島県生涯学習審議会委員
自由民主党連副会長
広島県議会自民党広志会・つばさ会長
広島県公民館連合会会長
山陽高校同窓会長
(一社)船舶安全機構理事

- きど常太が取り組んでいく課題
- ✓産業の活性化と雇用の確保
(中小企業の補助金強化・農水産物の6次化の推進)
 - ✓交通・社会インフラの整備
 - ✓地域医療、福祉のあり方
(介護政策の充実)
 - ✓子育て、教育の環境整備
(子育て応援)
 - ✓安全、安心なまちづくり
(陸の孤島の解消)

声がかかい! 顔がかかい! 夢がかかい!
きど常太の構想
— 広島・呉・東広島環状自動車道構想 —

- 呉平谷線(呉と焼山)上下2車線化
- 東広島・呉道路と広島呉道路を連結!
- R487を南進させ江田島市へとつなげる!



きど常太

自由民主党

奥原のぶや

自由民主党公認



2018年7月豪雨災害により、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたします(ともに)、被災されました皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

今回の豪雨災害により土砂災害が発生し、甚大な被害を受けた箇所のうち、早期の復旧に向け、国・県・市が連携を図り、県内30箇所にて災害関連緊急砂防事業等を実施いたします。そのうち、呉市内における工事箇所は県内最多の49箇所となっております。

災害関連緊急砂防事業等は、流域内に堆積した不安定土砂等による二次災害を防ぐための事業であり、2019年度末までの完成を目指します。引き続き、周辺斜面の土砂災害対策を緊急的に進めてまいります。

- ✓道路、都市基盤の整備
 - ★東広島・呉道路阿賀IC立体交差化の整備促進
 - ★2020年11月のクレアライン無料化
 - ★呉環状線バイパス警固屋地区、阿賀南地区の整備促進
 - ★呉平谷バイパスの整備促進
 - ★太田川からの導水トンネル2021年3月開通
 - ★二級河川「堺川」「内神川」の浸水被害対策の促進
- ✓新たな若者の雇用創出
 - ★阿賀マリノポリス地区埋立地への企業誘致
- ✓教育と子育て
 - ★呉市内に「県立・中高一貫校」の新設を目指します
 - ★3歳〜5歳の保育園・幼稚園の無償化(2019年10月)により子育ての経済的負担の軽減
- ✓魅力的な観光地づくり
 - ★「ものづくりの呉」の原点、旧海軍・海軍工廠ゆかりの日本遺産と「大和ミュージアム」等を活用した観光推進や多島美を活かした「とびしまサイクリングロード」等の体験型観光ルートの開発
 - ★県と連携した観光客の商店街への誘導促進

宮政利は県議会では民主県政会で活動しています。

わたしたち広島県議会民主県政会に集う仲間、働く者や生活者の立場にたち、地域・現場の視点から、安心社会の実現をめざして取り組みます。

実績1 現場主義 → **スピーディ**

7月の豪雨災害でも被災地を回り、いち早く要望を県知事に提出。

実績2 格差・貧困の連鎖 → **断ち切ろう**

格差社会や貧困問題を積極的に取り上げ、新たな取り組みを増やしている。

実績3 次の世代を → **支えます**

大学など進学希望者の対象者を拡大。要件に該当する全ての生徒へ給付可能に。

実績4 子ども達の夢を → **育みます**

小・中学校の教育が不足する中、正規職員の教育を増やすよう改善を。

「くらしの安心」と「共生社会」の実現にむけて 宮政利の5つの重点政策

- 1 **福祉**(暮らしと地域に安心をお届けする)
年齢や事情によらず、住み慣れた地域で健康で安心して暮らせる、社会保障の仕組みづくりに取り組みます。介護や子育てなど、福祉施策の充実を図ります。
 - 2 **防災**(地域のコミュニティが生命を守る)
河川・急傾斜地の防災・治山事業は重要な地域課題。並行してソフト面での防災施策を強化し、災害からの復旧・復興事業を着実に進めます。
 - 3 **経済**(産業活動の元気は、生活の源)
雇用や所得を保障することは地域の元気の源。地域に蓄積した人財と技能を、県の施策と連携し、地域経済と産業活動に「たくましさ」を再生します。
 - 4 **教育**(しなやかな感性と独創性を培う)
自ら学びとり確かめる力を身につける教育を進めます。地域の歴史や産品を「生きた教材」にして、体験学習などの学校運営を工夫します。
 - 5 **地域主権**(住民参画と情報の開示・活用で)
行政サービスの質や水準を、住民自らの参画で決定する領域を広げます。住民との共有財産である行政情報を積極的に開示し、有効活用を図ります。
- 1958年9月生まれ/1974年東畑中学校卒業/1977年三津田高校卒業/1981年3月神戸大学卒業
1981年4月呉市役所に入職/1991年4月呉市議会議員初当選/1999年4月広島県議会議員に初当選
以降おかげさまで連続5期の当選/2018年7月広島県議会副議長に就任 宮政利ホームページ



宮政利

連合広島推薦